

# 未来に向けた 地域づくりを考える

日時：2023年1月19日（木）13:30～16:30

会場：ウインクあいち 1302 会議室

「気候危機」と言われるようになった現在、深刻な気象災害が多発しています。今後も大雨や台風のリスク増加が懸念されており、私たちは激化する災害にさらされています。我が国は2050年カーボンニュートラルの実現に向け、2030年度の温室効果ガス排出を、2013年度比46%削減、さらに50%削減の高みに挑戦し、国内の温室効果ガス排出「実質ゼロ」を実現すべく、「脱炭素社会」、「循環経済」、「分散型社会」の構築を目指しています。地球温暖化対策の「緩和」と「適応」の視点から、ローカルSDGsの地域づくりについて、「いま」そして「これから」何をすべきか、何ができるかを考えます。

## プログラム

- 挨拶 平野 淳一 愛知県環境調査センター 研究監

### 第1部 気候変動適応セミナー

- 愛知県気候変動適応センターの取組紹介  
高井 賢治 愛知県環境調査センター企画情報部長
- 講演 「気候適応の日本史～人新世をのりこえる視点～」  
中塚 武氏 名古屋大学大学院 環境学研究科 教授

講師：中塚 武氏

1986年 京都大学理学部卒業、  
1991年 名古屋大学理学研究科  
大気水圏科学専攻満了。  
博士（理学）。

名古屋大学助手、北海道大学准教授、名古屋  
大学教授、総合地球環境学研究所教授を経て  
現在に至る。

2022年2月、『気候適応の日本史～人新世を  
のりこえる視点～』（吉川弘文館）を刊行。



### 第2部 話題提供 「2050 脱炭素社会に向けた地域づくり」

- 飯田市・人も自然も輝く個性ある「環境文化都市」を目指して  
勝田 雄大氏 飯田市市民協働環境部ゼロカーボンシティ推進課
- 地域新電力“MYパワー”の取組  
関原 康成氏 株式会社三河の山里コミュニティパワー取締役事業本部長

### 第3部 トークセッション 「気候危機を踏まえた地域づくりを考える」

- コメンテーター：中塚 武氏、勝田 雄大氏、関原 康成氏  
コーディネーター：原 理史氏 環境省 EPO 中部・中部地方 ESD 活動支援センター

主催：愛知県地球温暖化防止活動推進センター（一般社団法人 環境創造研究センター）

共催：愛知県気候変動適応センター（愛知県環境調査センター企画情報部）

愛知県環境局地球温暖化対策課

後援：環境省中部環境パートナーシップオフィス（EPO 中部）

この事業は、環境省の「令和4年度地域における地球温暖化防止活動促進事業」により実施します。

